

ライフジャケット
国土交通省型式承認品

BJ-3300 型
作業用救命衣(膨脹式)
(小型船舶用救命胴衣の要件に適合するもの)

取扱説明書

安全のため、使用前に必ず全てをお読み下さい。

製造元
東洋物産株式会社
東京都杉並区和田 3-53-14
Tel 03-3312-1471 Fax 03-3312-1560
URL: <http://www.toyo-bussan.co.jp>

はじめに

この度は、ライフジャケット BJ-3300 型をお買い求め頂き、誠に有難うございました。本書では、製品を安全にご使用頂くための注意事項について説明しています。ご使用前に、本書を必ずお読みの上、ご使用頂きますよう、お願い致します。

安全にお使いいただくために

本書には、本製品を安全にご使用いただくための、重要な情報が記載されております。本製品をご使用になる前に、必ずお読み下さい。特に「安全上のご注意」を、必ずお読みになり、ご理解された上で、本製品をご使用下さいますようお願い致します。また、本書は、製品をご使用になるとき、いつでもご覧いただけるよう、大切に保管しておいて下さい。

本製品の基準について



本製品は、船舶設備規定、及び小型船舶安全規則に基づく、作業用救命衣、小型船舶用救命胴衣の要件を満たしたものです。
また、2013年に改正された型式承認基準に適合した製品です。

説明書について

- 本書の内容の一部、または全部を無断で、転載する事は、禁止されております。
- 本書の内容について、将来予告なく変更する事があります。
- 本書の内容については万全を期していますが、万一不審な点や、誤り、記載漏れなど、お気づきの点がございましたら、弊社又は取り扱い販売店まで御連絡下さい。
- 本書に使用されている製品の写真は、実際の製品と異なる場合があります。

本書の表記について

●警告表示について

次の表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人に加えられる恐れのある危険や損害を、未然に防止するための目印となるものです。内容をよくご理解のうえ、本文をお読み下さい。

危険	この表示を無視して、取り扱いを誤った場合、使用者が死亡又は重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
警告	この表示を無視して、取り扱いを誤った場合、使用者が重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容、及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。

安全上のご注意

危険

- 本製品は、救命具としての用途以外には使用しないでください。
- 本製品は一人分の浮力しかありませんので、複数の人に対する対応はできません。
- 本製品は着用者の頭部を水面上に出す浮力を持ち、呼吸をしやすくする機能がありますが、生命の安全を保証するものではありません。(高波・うねりや体温低下には注意が必要です。)
- 本製品は、総質量 10kg 程度の装具を着用した状態での使用を想定し設計しておりますが、必ずしも安全を保証するものではありません。
- 着用手順に従い着用してください。誤った方法で着用されると、ライフジャケット本来の機能が損なわれる場合があります。
- 浮力体となる気室に傷をつけないでください。特に針には注意してください。気室に穴が開きますと、アダプタ付ポンペから充填したガスが漏れ、本来の機能をはたす事ができません。着用中の転倒や針掛かり等で、気室や膨脹装置に傷や破損が見られる場合は直ちに確認し、ガス漏れがあった場合は、直ちに使用を中止し、新しいものと交換してください。
- 本製品を分解又は改造しないでください。
- 本製品は、スプール(水分感知具)が感知して膨脹する仕様ですが、これは補助的な機能でありお客様の安全を素早く確保する意味で、落水時は手動にて作動索を引き膨脹させてください。万が一膨脹装置が作動しない場合は、外装布のマジックテープを外し、右手側の吸気チューブより直接口で息を吹き込み気室を膨脹させる事ができます。
- 膨脹装置を手動・自動にて一度作動させた場合は、ポンペ・スプールのパーツを必ず交換して使用してください。再使用はできません。
- お客様の安全を考慮し、ご購入後1年を経過した場合、スプールを交換してご使用ください。

- 水中で浮遊する場合、岩や鋭利な浮遊物等には、できるだけ近づかないでください。気室を傷つけ、使用できなくなる恐れがあります。磯では使用しないでください。

警告

- 本製品を投げたり、落としたりしないでください。膨脹装置の故障や誤作動による不具合が生じる場合があります。
- 煙草などの火気に近づけたり、針や突起物等の、鋭利な物による突き刺し・引っ掛けなどの破損には十分注意してください。着用前に鋭利な物(ピンオンリール・ピン付バჯ・ハサミ等)は取り外してから使用してください。気室に穴があき使用できなくなる恐れがあります。
- 本製品を着用する前に、吹き込み口から空気を注入しないでください。膨脹装置が作動した時、気室内の圧力が過大になり、気室が破損し使用できなくなる恐れがあります。
- 本製品を着用する場合は、必ず着衣の一番上に着用してください。本製品の上にバッグ等を着用したり、着衣の下(内側)に着用しますと、自動膨脹装置の作動が遅れたり、膨脹するスペースが制限される等で、本来の機能が阻害される恐れがあります。
- 膨脹装置内部のスプールが濡れると自動膨脹します。強い波や雨などがスプール部に当たらないようにしてください。
- 万が一、不意に膨脹する場合を想定し、予備のポンペ・スプールを携帯する事をおすすめします。

注意

- ご使用前に必ず添付の取扱説明書(本書)を必ずお読みください。
- 本製品を湿気の多い場所や、雨ざらしの場所・船上等で保管・放置しますと、スプール(水分感知具)が湿気を感じし自動膨脹する恐れがありますので、保管時・着用しない時は、乾燥した場所で管理してください。また、直射日光・光源の当たる場所や、薬品・溶剤・油と接触する場所や熱源等の高温になる場所、ネズミ等の害を受ける場所では保管しないでください。
- 着用する前に、バックル・胴締めテープ等の部品が、傷ついたり、破損したりしていないか必ず確認してください。
- 本体が汚れた場合は、洗濯機で洗ったり、乾燥機・アイロンを使用しないでください。膨脹したり破損や劣化の原因となります。柔らかいスポンジ等に薄めた中性洗剤を染み込ませて、汚れた部分を拭き取る程度にしてください。
- 本製品の上に座ったり、重いものを乗せないでください。トランクや車内での長期保管はしないでください。破損や劣化の原因となります。

警告

救命衣をお使いになる前に(必ず確認して下さい。)

ここでは、本製品をご使用になる前に必要な確認事項について説明致します。

製品及び付属品をご使用前に必ず確認してください。

万一不足しているものがございましたら、お買い上げの販売店にご連絡ください。

- アダプタ付ポンペ(未使用品)は確実に、緩まず膨脹装置に装着されていますか？ポンペインジケーターは緑色に表示されていますか？
- 作動レバーが確実に上まで上がっていますか？
- スプール(水分感知具)は異常ないですか。スプールインジケーターは緑色に表示されていますか？
- 本製品の標示部(次頁【図2】⑨「製品標示片布」参照)に検定合格印(サクラマーク)が押印されていますか？
- 膨脹装置のナットが緩んでいたり、外れていませんか？

製品説明及び部品構成

主な規格及び性能

NO	項目	規格及び性能
1	タイプ	作業用救命衣(膨脹式) (小型船舶用救命胴衣の要件に適合するもの)
2	型式名	BJ-3300 型
3	型式承認番号	第 5627 号
4	浮力	初期 19.6kg 24 時間後 7.5kg 以上
5	サイズ	フリーサイズ
6	製品重量	860g
7	常用圧力	30mmHg(社内試験による耐圧性 150mmHg)

各部の名称 BJ-3300

作業用救命衣（小型船舶用救命胴衣の要件に適合するもの）（膨脹式）
BJ-3300

【前面図】

【内側図】

【背面図】

（寸法は標準寸法を示す）寸法許容差 ±5%以内 単位：mm

番号	項目	材質	規格	品番	番号	項目	材質	規格	品番	番号	項目	材質	規格	品番
10	再帰反射材	型式承認品	50×100mm		20	吊テープ	ナイロン	平織 1.2×20mm		30	注意片布			
9	ナスカン	ステンレス	SUS304		19	線取りテープ	ナイロン	杉綾 1×20mm		29	製品標示片布			
8	バックル	ポリアセタール		IB25SA	18	外装布接続テープ	ナイロン	平織 1.1×15mm		28	気室布	ナイロン 100% 210d	■新フレタノルレンター・エニ T-5135W	
7	バックル	ポリアセタール		IB38SA	17	笛紐	ポリエステル	2.5mmφ		27	ボタン	ポリアセタール		左右2箇所
6	肩ベルト	ナイロン	平織 1.2×25mm		16	笛	スチロール			26	気室布接続テープ	ナイロン	杉綾 1×20mm	左右2箇所
5	肩ベルト固定用ベルト	ナイロン	平織 1.4×38mm		15	笛収納ゴム	オベロンゴム	50mm幅		25	面ファスナ(オス・メス)	ナイロン	16mm幅	
4	肩ベルト	ナイロン	平織 1.4×38mm		14	補助送気装置	ポリウレタン			24	面ファスナ(オス・メス)	ナイロン	10mm幅	
3	線取りテープ	ポリエステル	16mm幅		13	保護カバー	PVCフィルム	0.5mm厚		23	縫糸	ポリエステル	30番	
2	衿	ポリエステルメッシュ			12	カット装置	ポリアセタール			22	縫糸	ポリエステル	20番	
1	外装布	ナイロン			11	アダプタ付集気ガスボンベ	CO2	33g		21	危険防止パーツ	ポリアセタール		

【図1】

作業用救命衣（小型船舶用救命胴衣の要件に適合するもの）（膨脹式）
BJ-3300

【気室布前面図】

【気室布背面図】

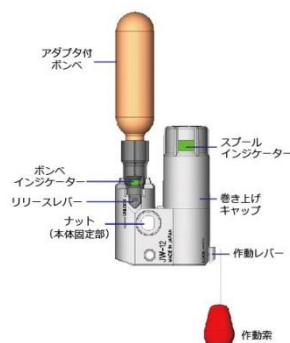
（寸法は標準寸法を示す）寸法許容差 ±5%以内 単位：mm

番号	項目	材質	規格	品番	番号	項目	材質	規格	品番	番号	項目	材質	規格	品番
10	再帰反射材	型式承認品	50×100mm		20	吊テープ	ナイロン	平織 1.2×20mm		30	注意片布			
9	ナスカン	ステンレス	SUS304		19	線取りテープ	ナイロン	杉綾 1×20mm		29	製品標示片布			
8	バックル	ポリアセタール		IB25SA	18	外装布接続テープ	ナイロン	平織 1.1×15mm		28	気室布	ナイロン 100% 210d	■新フレタノルレンター・エニ T-5135W	
7	バックル	ポリアセタール		IB38SA	17	笛紐	ポリエステル	2.5mmφ		27	ボタン	ポリアセタール		左右2箇所
6	肩ベルト	ナイロン	平織 1.2×25mm		16	笛	スチロール			26	気室布接続テープ	ナイロン	杉綾 1×20mm	左右2箇所
5	肩ベルト固定用ベルト	ナイロン	平織 1.4×38mm		15	笛収納ゴム	オベロンゴム	50mm幅		25	面ファスナ(オス・メス)	ナイロン	16mm幅	
4	肩ベルト	ナイロン	平織 1.4×38mm		14	補助送気装置	ポリウレタン			24	面ファスナ(オス・メス)	ナイロン	10mm幅	
3	線取りテープ	ポリエステル	16mm幅		13	保護カバー	PVCフィルム	0.5mm厚		23	縫糸	ポリエステル	30番	
2	衿	ポリエステルメッシュ			12	カット装置	ポリアセタール			22	縫糸	ポリエステル	20番	
1	外装布	ナイロン			11	アダプタ付集気ガスボンベ	CO2	33g		21	危険防止パーツ	ポリアセタール		

【図2】

膨脹装置(カッター装置) 構造図及び部品名称

本装置は、水分を感知するスプール、巻き上げキャップ、作動索、作動レバーにより構成された装置に、アダプタ付ポンペを装着することにより機能する構造になっています。本装置は、スプール(水分感知具)が水没することにより、スプール内の材料が溶解し、作動軸が開放され、この事により作動レバーが押され、ポンペのアダプタ内の撃針がポンペの封板を破り、ポンペ内の炭酸ガスが気室に充填される仕組みになっています。また作動索を引っ張ることにより、作動レバーを持ち上げ、前記と同様に撃針を介してポンペの封板を破ることもできる、手動、自動兼用の装置です。



膨脹装置 構造図

⚠ 危険

膨脹装置点検確認(ご使用前に必ず確認してください。)

- ① アダプタ付ポンペは、未使用のものが取り付けられていること。
(ポンペインジケータが緑色になっている事を確認する)



- ② 作動レバーが、下方におりていないこと。(ポンペに穴をあけている可能性があります)

- ③ スプールは、未使用のものが取り付けられていること。
(スプールインジケータが緑色になっている事を確認する)



- ④ 巻き上げキャップをストッパーが当たり、赤色が
見えなくなるまで締めこんでいること。



- ⑤ その他、ナット等の締めつけ部に緩みの無い事。
(膨脹時にガスが漏れる可能性があります)

上記の項目を満たしていない場合は、使用しないで販売店にご相談下さい。

⚠️ 注意

保管方法及びメンテナンス

保管及びメンテナンスにあたっては、次のことに注意してください。

1. 高温、多湿及び直射日光の当たる場所での保管は避けてください。膨脹装置に水分が一定以上入ると、自動的に膨脹しますので、誤作動のないように注意して下さい。
2. 外側の外装布は、気室布を保護する役割も兼ねています。黄色い気室布が外装布から飛び出していると損傷の原因となりますので、必ず外装布の中に収まるようにしておいて下さい。
3. 1年に1回は膨らませて、性能に問題ないか確認してください。
アダプタ付ポンベ及びスプール(水分感知具)は消耗品です。お客様の安全を自主的に確保する意味も含めて、ご購入後1年を目安に、スプールを交換してください。
(ポンベセットはアフターパーツ対応です。詳しくは販売店にお問合せください。)

⚠️ 危険

スプール(水分感知具)とアダプタ付ポンベの交換、及び再セット方法

●本製品は、本体の構成部が破損しない限り、スプールとアダプタ付ポンベを交換することにより、何度でも使用することが出来ます。必要な場合は次の方法で交換して下さい。(スプールは、本製品が**自動膨脹した場合又は、ご購入後1年経過した場合**には交換してください。)

- ① 膨脹している場合はガスを抜いてください。
- ② リリースレバーを下に押しながら、使用済みのガスポンベを反時計回りに回して取り外してください。
- ③ 巻き上げキャップを反時計回りに回してははずし、使用済みのスプールを取り出してください。(スプールセット場所の中の水分はきれいに拭取して下さい。)
- ④ 新しいスプールをセットし、出っ張りがある方を下にして、巻き上げキャップをしっかりと締め、**スプールインジケータが緑色になっていることを確認して下さい。**
- ⑤ 作動レバーが元の場所に「カチッ」と音が鳴るまで戻してください。
- ⑥ 未使用のアダプタ付ポンベの矢印部分に沿って、膨脹装置の奥まで押し込んだ後、時計回りに回してください。(ポンペインジケータが**緑色になっている事**を確認して下さい。)
- ⑦ 膨脹装置が外側から見えるように気室布をたたみ、外装布のマジックテープを閉じ、反対側も同様に補助送気装置(吹き込みチューブ)が気室布の上に来るようにたたみ、衿部分は後方に巻き込むようにたたみ、周囲全部のマジックテープを閉じてください。

⚠️ 注意

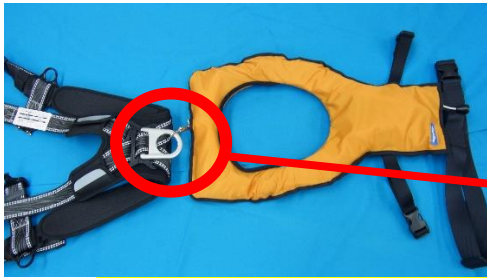
製品・パーツの交換時期及び廃棄について

- 現在、ライフジャケットについての耐用年数は、国土交通省 型式承認基準としては設定されておりません。本製品は、使用頻度や、使用環境、並びに保管方法等により、万一、次のような兆候が製品に現れた場合や、極度に破損した場合は、速やかに新しいものと交換して下さい。
1. 外装布が摩耗したり、マジックテープが取れて、気室布を保護する事が困難になった場合。バックルが割れたり、ベルト部などの縫製部が切れて体を保持できない場合。
 2. 膨脹装置にひび等が入り、気密性に問題が生じる可能性がある時。
 3. 外装布の上から、鋭利なものが刺さったりして、気室布を破損してしまった場合。
 4. 気室が熱や経時変化などにより劣化し、空気がもれる場合。
 5. 廃棄される場合は、産業廃棄物またはお住まいの自治体の指示に従って処理して下さい。
 6. **ご購入後1年経過した場合には、スプールは交換してください。**

●フルハーネス装着時の胴衣の着用手順

※フルハーネスの取付け方法につきましては、お客様がご使用のフルハーネスの取扱説明書をご確認ください。
また、ヘルメットは胴衣を着用した後に装着してください。

①着用前に、予めフルハーネス背部の D 環へ胴衣のナスカンを繋ぎ、フルハーネスの頭側に胴衣が来るような形にします。



このナスカンは、高所から落下しランヤードを介した吊り下げ状態になった時、救命胴衣による頸部圧迫を防ぐために胴衣から外れるようになっています。
ナスカンは必ず D 環へ繋ぐようにして下さい。

② ①の状態のまま、フルハーネスを着用します。両袖をフルハーネスへ通した後、胴衣を身体の前に持ってきます。



⚠ 注意

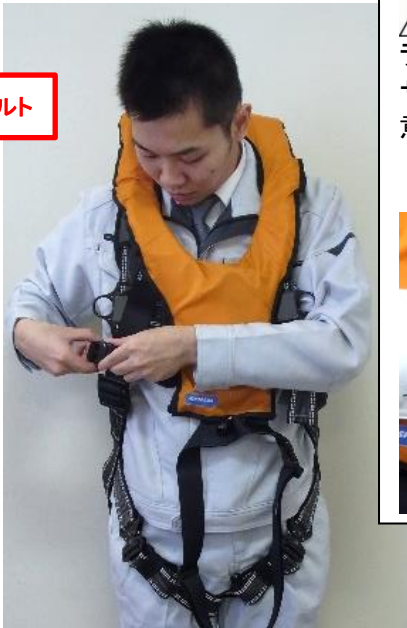
この時、胴衣の前面 (ESPADA マークが付いている側) が表に見えるようにしてください。



③ 胴衣に頭を通します。



④フルハーネスのベルトに BJ-3300 の前ベルト固定用ベルト(サイドベルト)を通し、バックルで取付けます。



⚠ 注意
ランヤード装着時は、ランヤードを胴衣のサイドベルトで留めてしまわないようご注意ください。



⑤胴衣の胴ベルトを留め、強く締めて身体にフィットさせたら着用完了です。



⚠ 警告

●ハーネス未装着時の着用方法及び救命胴衣の使用方法について

※ハーネス未装着時にご使用いただく際には、サイドベルトを救命胴衣の中に格納してください。

① 刺繍やプリント・ワッペンなどを取り付けてある方が前面にくるように、被ってください。



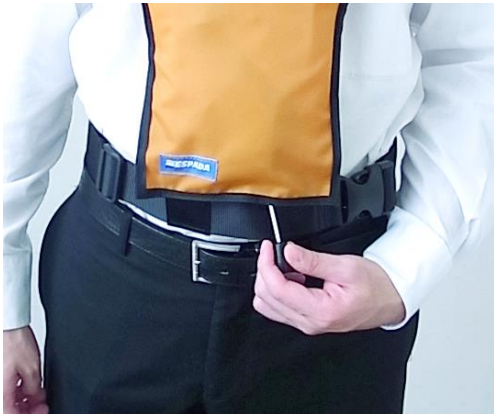
② 前のバックルを、セット(カチッと音がするまで)して下さい。



③ 本体が抜けないようにベルトを調節し、強く締めて体にフィットさせて下さい。



④ 膨脹装置本体が5秒以上水没した場合、自動的に膨脹しますが、この機能はあくまで補助的なものであり、落水の状況によって膨らむまでに時間がかかる事もある為、お客様の安全を考慮し、着水後に作動索を下方に強く引き続け、膨脹させてください。



サイドベルトの格納について

サイドベルトが出ている部分の面ファスナーを展開し、中にサイドベルトを格納し、面ファスナーをしっかりと閉じてください。



再度、サイドベルトを出して使用する際には、気室の部分が表に出ていないことを確認しご使用ください。



⚠ 注意 股ベルトはありません。必ず着水後に手動で作動索を強く引き続け、膨脹させてください。

- ⑤ 膨らみが足りない場合は、補助送気装置(吹き込みチューブ)から、強く息を吹き込んで膨らませてください。吹き込みチューブは、気温、水温、時間の変化により、気室内の圧力が低下し、十分な浮力を得られない時使用するものです。また救助を求める場合は笛を強く吹いてください。



- ⑥ ガスを抜く場合は、吹き込みチューブキャップのつばの部分チューブに差し込むと逆止弁が押され、充填されている気体を排出することができます。ガスが完全に抜けたらキャップを元の位置に必ず戻してください。そのままの状態では折れたらむと、膨脹時にガスが抜け危険です。



⚠ 危険

水中で使用中の場合は、絶対にガスを抜かないで下さい。

収納方法について

- ① 気室布と外装布をボタンで留め(2箇所)、内側から被せるように外装布を取り付けます。



- ② 外装布底辺部分の面ファスナーを仮止めます。



- ③ 気室の側面を外装布裾のテープの角(下図、□部分)から斜めに2回谷折りしたら、サイドベルトの付いている部分を山折りで手前に折り返し、面ファスナーを閉じます。

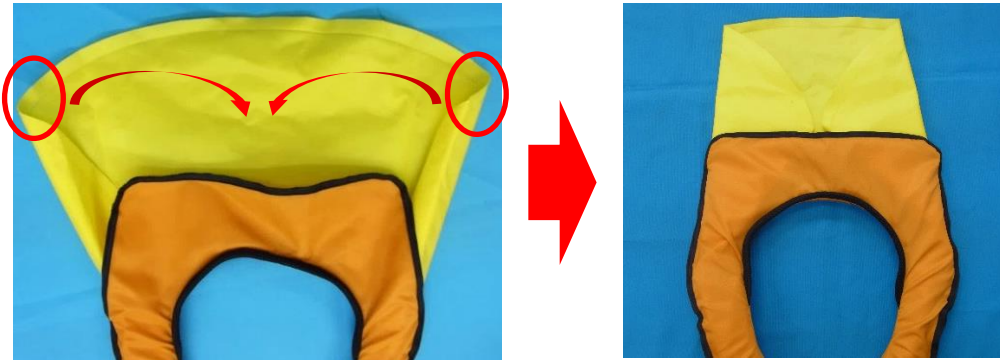


外装布と気室を留めるボタンに気室の縁が重なるよう折ると、綺麗に置めます。

④ 反対側も③と同様に折り畳み、面ファスナーを下から右図の○印のあたりまで閉じます。



⑤ 表に出ている気室の両端を、それぞれの角が気室の中央あたりに来るよう谷折りします。



⑥ ⑤の状態の気室を2回谷折りし、外装布の面ファスナーを全てしっかり閉じて収納します。



⑦ “PULL”マークの下から作動索が出ているかを確認したら、完成です。



膨脹装置を適切に作動させるため、作動索は必ずPULL↓マークの下から出すようにして下さい。